

◆国際シンポジウム グローバリゼーション時代の留学生の就職支援

主 催：独立行政法人日本学生支援機構
協力団体：中島記念国際交流財団助成事業

開催日時：平成一八年一月三日（金）一〇：〇〇～

会 場：東京国際交流館プラザ平成
参加者数：約二五〇名

シンポジウムには、留学生や学生のみならず、大学等教育機関の教職員や、企業、大使館、国際交流機関の職員など、多種多様な機関からの多くの申込があった。

午前は、「多文化共生時代の日本と外国人留学生」をテーマに明治大学商学部教授山脇啓造先生と「東アジア連携と国際的人材育成の役割」をテーマに大和総研チーフ・エコノミスト原田泰先生の講演があった。

留学生の就職支援に関して、大学、企業の第一線で活躍される方の講演に、参加者からは活発な質問もあった。

午後は、「アジアの人材育成への協力と日本留学生の就職支援の課題」と題して、教育現場、企業、省庁の各界で活躍される六名によるパネル・ディスカッションがあり、モデレーターのもと、具体的・総括的に様々な視点からの興味深い

議論が展開された。またこのパネル・ディスカッションでは、タイ国人事院海外教育研修部から、パナルワン・パントウホンシニアエキスパートによる、送り出し国側としての貴重なご意見も伺った。

その後、会場をメディアホール、会議室に移し、三つの分科会が行われた。各分科会のテーマは以下のとおり。

- 分科会Ⅰ「企業のニーズと大学の支援体制」
- 分科会Ⅱ「留学生はこうして企業を選んだ」
- 分科会Ⅲ「ケース・スタディー」中国人留学生の日本での就職の実情」

分科会終了後は、再度、国際交流会議場に場所を移し、全体討議が行われた。分科会報告と、「国際的人材育成と日本企業・教育機関の連携に向けて」と題し、更に一歩踏み込み、現在の問題点、今後の改善策に論点をあて、締めくくりにふさわしい意義深い討議が行われた。

◆「小さな地球村」体験プログラム意見交換会 ～これからの国際理解教室を考える～

主催団体：日本学生支援機構仙台支部

協力団体：松島町教育委員会・松島町国際交流協会・財団法人

人宮城県国際交流協会

開催日：一月二〇日（金）

会 場：松島町中央公民館 研修室

参加者数：三〇名

今年度は、国際理解教室を二六回実施。

松島第三小学校より事例紹介と、財団法人人宮城県国際交流協会より平成一七年度宮城県内の国際理解教育支援事業の実施状況について説明があった。

また、学校側からは要望等、留学生側からは本事業に参加した動機や活動の感想等、活発な意見交換が行われた。

◆第三九回全国学生相談研究会議～広島シンポジウム～

主 催：全国学生相談研究会議、独立行政法人日本学生支

援機構、国立大学法人広島大学

協 力：文部科学省

当 番 校：国立大学法人広島大学

開催日：一月二五日（水）～二七日（金）

会 場：広島ガーデンパレス

参加者数：大学カウンセラー等七八名

・本研究会議は、新たな

学生相談活動の在り方

を検討し、学生相談機

能の充実を図るため年

一回開催しており今年

度は第三九回目の開催

となった。

・本年度のテーマは「学

生相談研究会議の過

去・現在・未来」。

・一日目は、テーマを

「学生相談カウンセラ

ーの研修に求められる

もの」としたシンポジウムを行った。

・二日目は、午前中にミニシンポジウムと事例研究からなる

分科会Ⅰを三会場で行い、午後は小柳晴生氏による特別講

演（演題「カウンセリングが必要とされる時代背景」）と

分科会Ⅱを行った。

・三日目は、事例研究、ワークショップからなる分科会Ⅲを

二つの会場で行った。



分科会の風景